

山名・山域	西丹沢（白石沢～加入道山～犬越路～檜洞丸）
山行目的	避難小屋に泊まり新緑を楽しむ
山行期間	2016年5月7日～8日（一泊二日）
参加者	6名

ルート、コースタイム

7日 1100 西丹沢自然教室—1400 白石峠—1420 加入道山（避難小屋泊）

8日 600 加入道山—720 大室山—840 犬越路—1130 檜洞丸—1420 西丹沢自然教室

山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

加入道山は神奈川県と山梨県の県境に位置する標高 1418.4m の山である。

西丹沢奥地にある山なのでアクセスが悪く今まで思い立ったことが無かった。

今回加入道山山頂の避難小屋が建て替えられ、その避難小屋に一泊して犬越路、檜洞丸を経て西丹沢自然教室に戻る周遊コースが企画されたので参加することにした。

7日 我ら 6 名は西丹沢自然教室から北へ車道を歩き始めた。林道終点からは沢沿いの道を渡渉を繰り返しながら高度を上げた。水の枯れた沢をつめて一登りすると白石峠だ。尾根道を右折し、しばらく進むと加入道山山頂にたどり着く。展望こそ無いものの 5 月の新緑が美しく、素晴らしい天気にも恵まれて一同至福の時を過ごした。おまけに新築の小屋が貸切状態であったため、その夜は大いに盛り上がったのは言うまでもない。

8日 翌日は早朝に小屋を出て大室山を目指した。この日も晴天で緑の山並みの向こうに富士山がくっきりと美しい。大室山は加入道山から犬越路へ向かう途中にあるが、ルートから少し外れるので山頂までピストンだ。ルートに戻り、ひたすら下り続けると犬越路に到着する。犬越路の名称は戦国時代に武田信玄が小田原城を攻める際に犬を先導させたという故事に由来する。犬越路からの登りは本コース最大の難所である。急な岩場やくさり場が連続して待ち受けている。当難所を超えると赤やしろや白やしろが咲いていてほっとさせてくれる。木製の階段や渡り歩廊を経て山頂にたどり着く。山頂で一休みした後、つつじ新道経由で下山した。下山後は山北駅隣接の「さくらの湯」で汗を流し駅前の居酒屋で反省会をして散会とした。

反省点：○ 先頭を歩く人はパーティがまとまって歩けるようペース配分に気をつける。

○ シュラフ下に敷くマットはザックに立て向きにくくりつける。（横向きでは行動中いろんな所にぶつかる）

○ 岩場を登るときは細かく手がかり／足がかりとなる窪みをこまかくひろう。（一気に上がると疲労度があがる）

以上